

## 2013年 天溪 「花のカナディアンロッキー 9日間」

### 第二部 スコーキ

カルガリー地方を襲った集中豪雨はバンフでも可也凄かったとの事。夏期の月間降水量が500mm程度のこの地域にほんの数日で250mm以上降ったとか。地層が岩盤質で水分が浸透しにくいのか、あちこちの沢で土石流がおきたようです。所で私達が歩いたトレイル（バンフ以北）はスコーキバレーも含め豪雨の影響は全く見受けられず、何時も通りでした。



(ターミガンレイク 7/16日)

#### ○スコーキ1日目

今年は旅の終わりにカナディアンロッキーを目一杯楽しめるスコーキハイキングを入れました。初日は天気もまずまずでパッカーズ・パスを登り、スコーキレイクへ下り、スコーキロッジへ。所で驚いたのは熊では無くバックカントリー・ハイカーの多い事。ハイシーズンでも殆ど人が入らないこの地ですが、例年の5倍はいるかの様でした。



(パッカーズパス 7/14日)



(マーモット 7/14 日)

### ○スコーク 2 日目

予報でこの日は時々雨でしたが未明から雷鳴が轟き、早朝は夏と言うのに横殴りの雪が降るなど荒れ模様。その後回復したでマリーンレイクへハイキング、何時の様に秘境の湖を我々だけで占領して来ました。所で今年のお花の状態は何時もより早い所も有れば遅い所も有り。7 月前半に暑い日があり、開花の時期が狂った様です。



(雷鳥の親子 7/15 日)



### ○スコーク 3 日目

寒いと思って外に出ると霜が降り、放射冷却で気温は $-2$ 度、雲一つない快晴。絶好の天気にも残念ながら今日は下山日。風が無いので湖面に映るターミガンピークを期待し復路もパッカーズパス経由を選択。神秘的な湖面に浮かぶ峰々を眺めながら帰路につきました。この日は写真の通り午後 2 時を回っても雲一つない快晴、この地でこんな天気はめったに会えません！





(ターミガンレイク 7/16日)



次の天溪ツアーは所を北米から欧州アルプスに移し7月19日発「夏のアルプス・オートルート11日間」をお届けします。

記 天溪 赤沼